

#### ■ 取付作業上のご注意

- 取付作業は、専門技術と経験が必要です。取付作業は、安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。誤った取り付けを行うと、急ブレーキをかけたときに製品が外れて人にぶつかるなど、重大な事故が発生する危険性があります。
- ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。
- 製品の取り付けには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。
- 付属の取付用部品には、小さな部品があります。子どもが過って飲み込まないように、以下の点に注意してください。
  - (1) 取り付け、取り外しを行うときは、子どもの手の届くところに部品を放置しないでください。
  - (2) 作業後は行方がわからない部品が無いことを、付属品一覧で部品、数量を確認してください。
  - (3) 使用しない部品は、子どもの手の届かないところに保管してください。
 万一、子どもが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

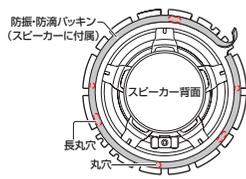
#### ■ 取付方法

- 取り付けにあたっては、この取付説明をよくお読みのうえ、正しくしっかりと取り付けを行なってください。
- 車種グレード・年式によっては車両の一部に変更があり適合しない場合があります。詳しくは購入店にご相談ください。
- スピーカーの取り付け（防振・防滴、スペーサー使用方法等）および接続等に関しては、スピーカーの取付説明書をご参照ください。
- 取付車種によっては、車両のドアトリム裏あるいはグリル裏の加工が必要な場合があります。また当社スピーカーの取付説明書に代表車種の取り外し方法が記載されておりますのでご参照ください。
- 取付説明でご不明な点がありましたら、購入店または JVCケンウッド カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。JVCケンウッド カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ先は、下方に記載してあります。

#### ■ 事前作業

防振・防滴のために①ブラケット（アルミダイキャスト）の車両側取付面に、図のように穴を内側によけて付属の⑥パッキンを貼ってください。

スピーカー背面のブラケットに接する面に、スピーカーに付属している防振・防滴パッキンを貼ってください。



16cm スピーカーを取り付ける場合は、図のようにスピーカーの丸穴、長丸穴をふさぐように貼ってください。

#### 株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

●商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッド カスタマーサポートセンターをご利用ください。

電話 0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル) 045-450-8950 (一部IP電話など)

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12 FAX 045-450-2308

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:30 (日曜、祝日および当社休日には休ませていただきます)

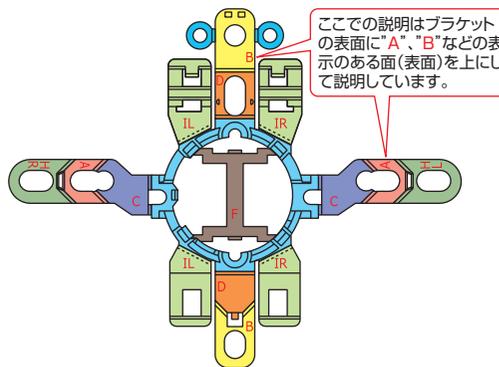
●修理などアフターサービスについては、

当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

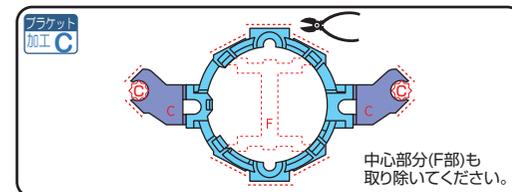
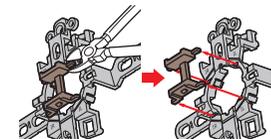
#### ■ ③ ツィーターブラケットの加工、取付穴説明

取り付ける車両に応じて③ツィーターブラケットの使用しない部分を、下図のようにニッパーなどで溝に沿って切断し、取り除いてください。

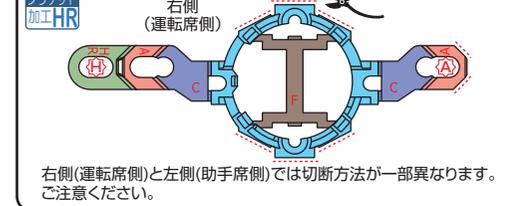
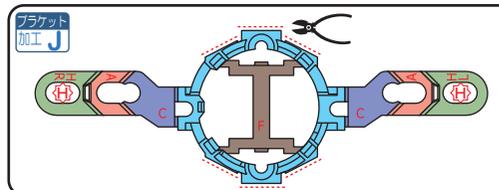
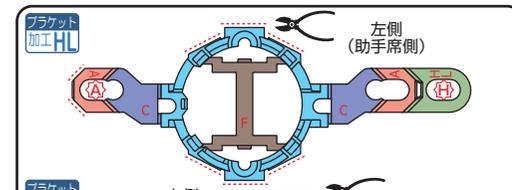
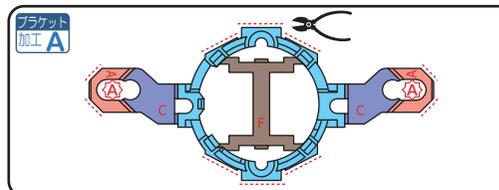
※ 必要な部分を誤って切り取らないようご注意ください。



中心部分(F部)の切取方法  
下図のように4カ所切断し、取り除いてください。



☆ は取付に使用する穴を示しています。



右側(運転席側)と左側(助手席側)では切断方法が一部異なります。ご注意ください。

#### ■ ④ バイパスコードの接続 (対象車種のみ)

純正ツィーターのコネクターを外します。

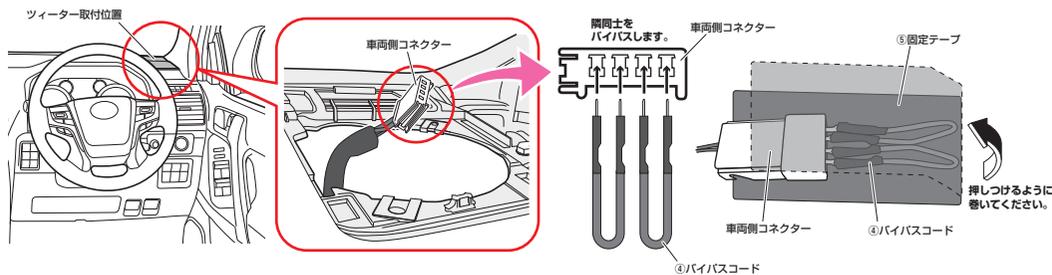
バイパスする端子位置を確認して④バイパスコード2本を使い、端子が突き当たるまで挿入して接続します。

接続した車両側コネクターと④バイパスコードを下図のように⑤固定テープでしっかり巻き、④バイパスコードが抜けにくいよう固定します。

固定した車両側コネクターを⑤固定テープで車両へ固定します。

※ 必要車種は接続しないとウーファーから音が出ません。

※ バイパスする端子位置を誤って接続すると、破損、火災の原因となります。



## ■ 取付作業

⑥パッキンを貼り付けた①ブラケット（アルミダイキャスト）を⑦ボルト、⑧および⑩ワッシャー、⑨ナットを使用して車両取付穴に取り付けます。

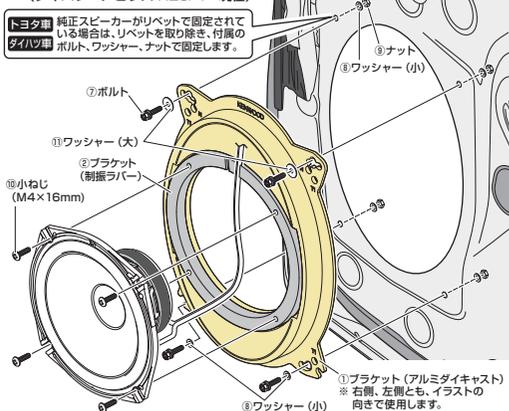
①ブラケット（アルミダイキャスト）に②ブラケット（制振ラバー）をはめ込み、車両により接続コードを②ブラケット（制振ラバー）の溝に這わせて、スピーカーを⑩小ねじ（M4×16mm）を使用して取り付けます。

## ■ ウーファー取付例

下記年式表記中の「現在」はH31年2月現在を指します。

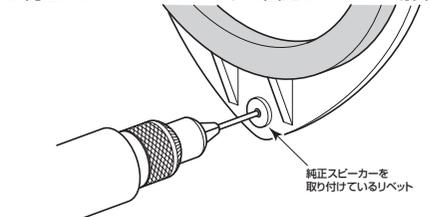
### ■ トヨタ車への取付例

（トヨタ：プリウスα H23/5～現在）  
（ダイハツ：メビウス H25/4～現在）



## ■ リベットの除去方法

### ● 純正スピーカーがリベットで固定されている場合



リベットのロック部(中心部)にドリルで穴をあける要領で、こじりながら取り除き、リベット本体も取り除きます。

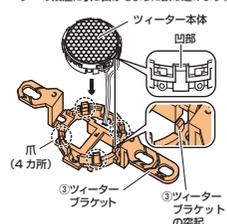
※リベットの破片も拾って取り除きます。  
※取り除いたリベットは、再使用出来なくなります。

## ■ ツィーター取付例

下記年式表記中の「現在」はH31年2月現在を指します。

### ■ 純正ツィーター取付位置への取付例

前ページの③ツィーターブラケットの加工方法を参照し、取り付ける車両に応じたブラケットの使用しない部分をつまみなど丁寧に沿って切断し、取り除いてください。ツィーターの凹部と③ツィーターブラケットの突起を穴(3カ所)を合わせ、ツィーターを③ツィーターブラケットに取り付けます。③ツィーターブラケットの爪(4カ所)がツィーターの段差に引っ掛かるように嵌め込みます。

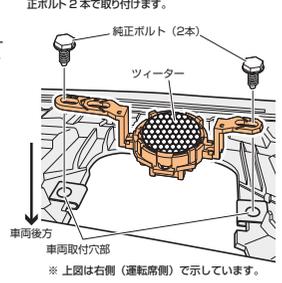


※加工方法はH(HL/HR)で示していますが、③ツィーターブラケットとツィーターの取付方法は同様です。

### ■ 加工方法H(HL/HR)の取付例

（トヨタ：アルファード H27/1～現在）  
（トヨタ：ヴェルファイア H27/1～現在）

③ツィーターブラケットに固定したツィーターを下部のような（ツィーターの傾きが後方）方向に、純正ボルト2本で取り付けます。

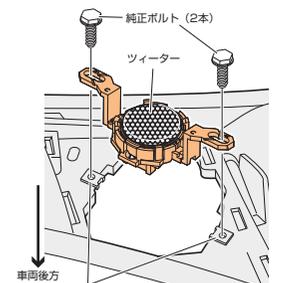


※上図は右側（運転席側）で示しています。

### ■ 加工方法Aの取付例

（トヨタ：プリウス H21/5～H27/12）

③ツィーターブラケットに固定したツィーターを下部のような（ツィーターの傾きが後方）方向に、純正ボルト2本で取り付けます。

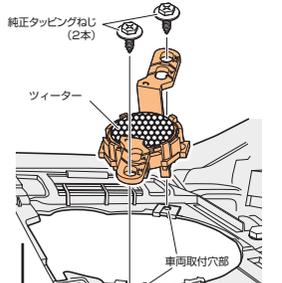


※上図は右側（運転席側）で示しています。

### ■ 加工方法Jの取付例

（トヨタ：ランドクルーザープラド H21/9～現在）

③ツィーターブラケットに固定したツィーターを下部のような（ツィーターの傾きが内側）方向に、純正タッピングねじ2本で取り付けます。

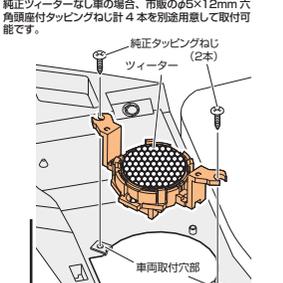


※上図は右側（運転席側）で示しています。

### ■ 加工方法Cの取付例

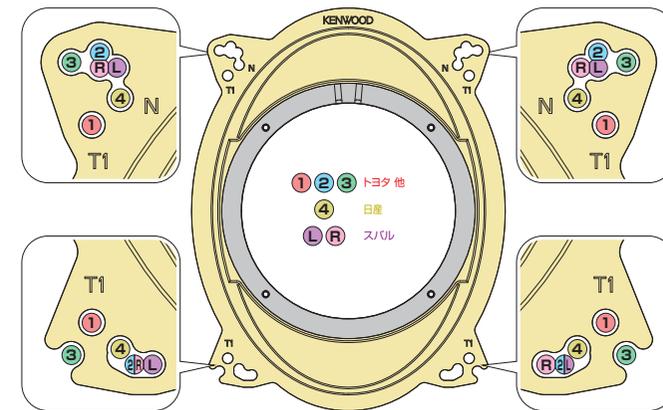
（日産：エルグランド H22/8～現在）

③ツィーターブラケットに固定したツィーターを下部のような（ツィーターの傾きが内側）方向に、純正タッピングねじ2本で取り付けます。純正ツィーターなし車の場合、市販のφ5×12mm六角頭座付タッピングねじ計4本を別途用意して取付可能です。



※上図は右側（運転席側）で示しています。

## ■ 取付穴説明



## ■ 付属品一覧

①	②	③	④	⑤
ブラケット (アルミダイキャスト)	ブラケット(制振ラバー)	ツィーターブラケット	パイバスコッド	固定テープ
.....2	.....2	.....2	.....4	.....4
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
パッキン	ボルト(M5×20mm)	ワッシャー(小)	ナット(M5)	小ねじ(M4×16mm)
.....1 (2本)	.....8	.....12	.....8	.....8
⑪				
ワッシャー(大)				
.....4				